

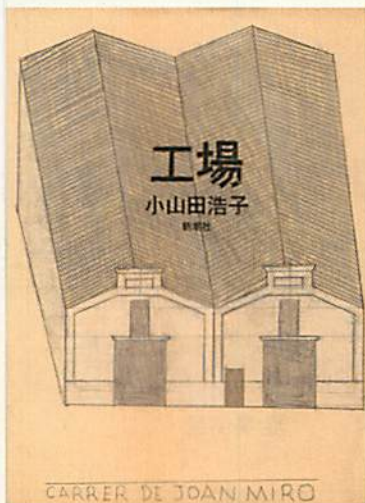
BOOK

本

街の本屋さんが「今月推したい1冊」をご紹介します。

はわが人生の「師」なり

— わからないことがわからないまま描かれる傑作 —



工場

著者：小山田 浩子
出版社：新潮社
定価：1,800円＋税

中篇3編が入っています。表題作でもある「工場」(新潮新人賞受賞作品)は、何を作っているのかわからない海辺の巨大な企業組織、通称「工場」に、中途採用された牛山佳子、古笛、そして牛山の兄の3人のそれぞれの視点から見た日常が描かれたものです。

牛山佳子の仕事といえば、毎日延々とシュレッダーによる書類の粉砕、古笛は、屋上緑化推進室という一人だけの部署でコケの研究、牛山の兄は何の目的なのかもわからない原稿の校正作業など、あまり意味のないように思える仕事に従事する日々。そして、そこにしか生息しない謎の動物たち…。その工場が何なのか、少々の奇妙さも含まれ、何がわからないことなのかも語られませんが、最後にそれらのことが全体像として見えるようなどんでん返しがあります。ラストに足元がぐらっとする驚きと面白さ、この不思議な感覚は読んでからのお楽しみです。

普段仕事をする中で同僚に感じるイライラや日常の感覚を微細に表現し、そこに書かれていない奇妙な世界を想像させてくれる面白い作家の登場です。

今月の推薦者



MARUZEN & ジュンク堂書店 札幌店
菊地 貴子 さん

今こんな本が売られています

MARUZEN & ジュンク堂書店札幌店
売上ランキング
(期間:5月1日～5月31日)

総合 売上ベスト5

1位	大泉エッセイ～僕が綴った16年/大泉 洋(メディアファクトリー)
2位	医者に殺されない47の心得/近藤 誠(アスコム)
3位	厩物語/西尾 維新(講談社)
4位	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年/村上 春樹(文藝春秋)
5位	評価と贈与の経済学/岡田 斗司夫・内田 樹(徳間書店)

CINEMA

コン・ティキ

7月6日(土)から公開
ディノスシネマズ札幌劇場

歴史的な大冒険を描いた感動の実話を世界初の映画化!

ノルウェーの探検家で海洋生物学者、トール・ハイエルダールの実話を基に、太平洋の航海をダイナミックに描いた感動作。
南太平洋に浮かぶポリネシア諸島の人々の起源が南米にあることを立証すべく、ハイエルダールが敢行した「いかだ「コンティキ号」による8,000キロにも及ぶ旅の冒険が始まる。

チケットプレゼント

ご招待券を4名様にプレゼント。
32頁のアンケートにご記入の上、ご応募ください。